





次に、成績の発表を記します。

◎ 青年男子軟式野球 準優勝 第二部  
◎ ソフトボール 第三部 準優勝 第二部

二、盆踊り 優勝 第三部 準優勝 第四部

と、ヨイヨイ “よいとこ、潮風うけて、ヨイヤサ

盛況におおりの踊り姿が目にかほりの

この方も、あがりも、自治会、長さん、分館長

さん、この方も、あがりも、自治会、長さん、分館長

の、この方も、あがりも、自治会、長さん、分館長

三、文化祭、お礼申しあげます。ご協力によ

(1) 日ノ、エレクトーン発表会

主催場、由良小学校(祭)

協賛、由良地区公民館

指導にあたり、先生方のご苦勞も大変だ

作品展、写真、生花、手芸品、絵画、

年ごとに進歩のうかがえる力作が、会場

に、展示された。多くの方々に鑑賞して

いただき、ありがとうございました。厚くお礼申

しあげます。京都国体が開催され、それに先

今年、実施された。炬火の地区の火、と本火

よって、撮影して、炬火の地区の火、と本火

国体、コナを設けた。放映させていた。だ、く、会

で、テレビの前は、一日、中、人のと、だ、き、好、評、で

しい、ぐら、い、の、沢、山、の、方、々、に、み、て、い、た、だ、き、好、評、で

席、を、た、あ、り、が、と、う、ご、ざ、い、ま、し、た、だ、き、好、評、で

、一、年、の、小、室、宗、扶、先、生、に、設、け、て、お、り、ま、す、お、茶

、一、年、の、小、室、宗、扶、先、生、に、設、け、て、お、り、ま、す、お、茶

、一、年、の、小、室、宗、扶、先、生、に、設、け、て、お、り、ま、す、お、茶

することができましたこと、厚くお礼申しあげま

## 報 告 二

一、寄付  
 去る十月、小松館長の御母堂が逝去され、  
 供養にと公民館にご寄付をいたされました。  
 し、ここに厚くお礼申しあげますとともに、謹  
 んで御冥福をお祈り致します。

二、新購入図書のご案内  
 公民館図書室に、次の本を受入れました、  
 皆さんのご利用をお待ちしております。  
 \* 宮本 輝 「優駿(海上、下)」  
 \* 椎名 誠 「さよなら海の女たち」  
 \* 曾野 綾子 「あとには野となれ」  
 \* 逢坂 剛子 「幻の翼」  
 \* 津村 節子 「海の星座」  
 \* 笹倉 明 「漂流裁判」  
 \* 松本 清張 「黒い空」  
 \* 永井 路子 「雲と風と」  
 \* 村上 春樹 「ノルウェイの森(上、下)」  
 \* 黒岩 重吾 「古代史への旅」

\* 木村尚三郎 「(耕す文化)の時代」  
 \* 村田保太郎 「子ども心の健康相談室」  
 \* 高橋栄治 「家庭果樹の剪定」  
 ◎ 文芸春秋 「(文芸春秋)にみる昭和史」  
 1、2、3、

### 京都国体協力についてのお礼

京都国体由良地区推進委員会  
 会長 中西孫兵衛

「新しい歴史に向かつて走ろう」の役員  
 ガンのもと、歴史に各地方から大勢の選手、役員  
 を迎えて開催されました。二巡目の初回の第四  
 十三回国民体育大会は成功裏に終了いたしました  
 した、この間、地区の皆さんには宮津市の他の  
 地域に率先して、京都国体由良地区推進委員  
 会を組織していただき、特に、地区民あげて取り組  
 んでいた各団体、盛況に得て三回の火  
 のり、練習を兼ね、盛大に行うことが  
 できました。推進委員会の役員はもとより、地区  
 の皆さんのご理解、ご協力の賜ものと、衷心よ  
 りの厚くお礼を申し上げます。由良地区の盛

り上がいいつそう強固になり、地区民の活力を  
 由良地域の発展に継続させていたゞきたいと  
 思います。今後一層のご協力をお願い申し上げます。

## 「由良の火」のレレ隊に参加して

由良小 六年 中西康晴

のぼくは京都国体炬火レレ隊の火  
 番はじめのレレ隊で脇に集まりました。さ  
 いしよに木と木のまきつで火をおこしました。  
 とか、なかなかに火がつかんやろと、時間か  
 かつたけど火がつかんやろと、時間か  
 式があるのでも火がつかんやろと、時間か  
 わんなんのドキドキしては、選せんせいを言  
 京都府のはたせんと宮津市のはたせんと初めに  
 ました。次にせんとせんと返事をした名前を  
 よばれて、はい。と返事をした名前を  
 でてせんせいをほくたした。返事をした名前を  
 四十三回国民体育大会地区の火を安全に由良  
 地区内をりました。だるぶ、まちがえたりして、

はずかしかつたです。そして、トチに火を  
 つけて、十一人並んで走り始めました。  
 すごいっばい。人が見にきていて  
 と、がんばれ。がんばれ。走っている  
 道に、すくなくさん。人が、応えんしてくれ  
 て、すくなくさん。人が、応えんしてくれ  
 ベースで走った。次のふ人会のチームに引きつ  
 んだ。下で、次のふ人会のチームに引きつ  
 んだ。下で、次のふ人会のチームに引きつ  
 と、お願いして。と、お願いして。  
 と、お願いして。と、お願いして。  
 が走りだすと、終わりました。ふ人会の人  
 し、送った。火を宮津にもっていき、みんな  
 よ、送った。火を宮津にもっていき、みんな  
 京都国体の行事として、由良地区内を走った  
 です。一生の思い出になることよかったです。

健康いろはカルタ















正式に任命されたものかどうかはつきりし  
 せんし、鎌倉時代の以後の武士の受領号は、そ  
 の実頂を伴わないものでも多いので、余り信用  
 できないものである。津軽富士  
 として有名な岩木山があり、これにま  
 安寿、厨子王の霊を祀る山とされ、此処  
 つわゆる伝説が古くから伝えられており、こ  
 では、安寿、厨子王の父岩木判官正氏は、こ  
 の地の主としてあり、矢張り津軽安東氏がそ  
 の背景として浮び上り、厨子王の物語を記録した  
 古川の正辰は、天明八年（一七八九）に巡見使  
 の随員としてこの地方を旅したのであるとい  
 う。この津軽の地方に來ると災いがあるとい  
 じ、見出しと一思つて、この度、信  
 後、出の申しがあれば除いてもらいたい」と  
 津軽藩から申し入れがあり、川口久助という  
 武士の一家から中に丹後という者がいること  
 判り、一行から外したというエピソードを書  
 いています。古くから、丹後の人來る  
 と岩木山が荒れて、天気が悪くなる、とい  
 が、これを丹後日和と結び付けています。この話  
 厨子王を酷使した山椒大夫の本国である丹後

の国の人來ると、その霊を祀る岩木山が怒  
 っ、荒れるのだ、ということになつて、あ  
 っ、これは、もつとほかの意味の話であつたに  
 違いないと思つています。

参考書

「丹後田辺府志」  
 東洋文庫版「説経節」  
 東洋文庫版「東遊雜記」  
 （平凡社）  
 （平凡社）

「小浜市史」史料篇  
 「寛政重修諸家譜」

平凡社刊「続さんせう大夫考」岩崎武夫著  
 新潮日本古典集成版「説輕集」

（六三年一月一二日・小谷）